

平成 8 年

かるがも部会

開催

「青少年健全育成講演会」



講 師

鷹 羽 英 房 先 生

(大府小学校教諭)



基調講演

私の経験した
スポーツと
こどもたち

ふれあい

大府コミュニティ だより

編集発行

大府コミュニティ
推進協議会
ふれあい部会
事務局
大府公民館
TEL 48-1007

助けあう

家庭と地域を

創造しよう

去る十一月二十四日、大府公民館において、大府の地で生まれ、育たれた鷹羽先生を講師にお迎えして、青少年健全育成講演会が開かれました。

会場いっぱい参加者を前に、先生の子どもの頃の遊びと、今の子ども達の遊びの違いなどから、話しが始まりました。

子どもの頃の遊びは、大人になるための下地づくりであり、ルールを身につける大切なものになっている。先生の子どもの頃は、いろいろな遊びがあり、暗くなるまで外で遊び、知らず知らずのうちに体が鍛えられたが、今の子どもたちは、遊び場も少なく、ファミコンなど家の中で遊ぶことが多い、又、習いごとといっぱいで、運動不足になりがちになると、心配そうに、言われました。

次に発育期にあったスポーツトレーニングの話をしました。早い時期から無理な一つの型にはめないこと、技術や体力づくりの効果を急がないことが大切であり、子どもが、自分で目標を持てば、トレーニングも長続きし

上達も見られる。目指すスポーツができてから専門的なトレーニングをすれば良いことで、まず基本的な運動を身につけることが必要であると、元野球選手の江川さんの少年期の話し、元グランドパスエイトのベンゲル監督の話しなどを入れながら、解かりやすく説明して下さいました。

更に、年齢によって、身体の発育、発達度が違うことを、スキヤモンの発育曲線を見ながら説明され、中学生から高校生にかけて一番筋肉が発達する時で、この頃よく運動した人は、大人になっても、足・腰がしっかりしていると云われました。

最後に、ヨーロッパに行かれた時のドイツやフランスの学校制度の違いなども話され、先生の、「子どもは国の宝であり、地域の人達によつて、育てられていく」という言葉がとて、印象に残りました。

